

【 ICT 活用実践紹介】

【花里小 実習生の実践】

教科：国語

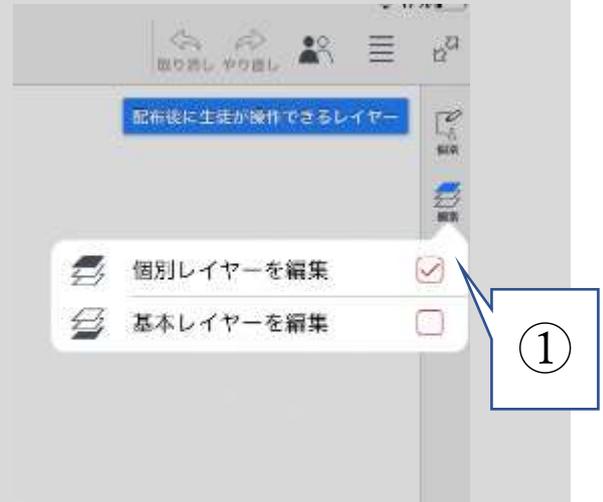
活用ツール：「MetaMoji Classroom」

類型：B4（表現・制作）

内容：「へんとつくり」

1. 【準備】①のように「個別レイヤー」上に児童が操作できる「へんとつくりのカード」(図)をつくっておく
2. 【準備】クラスボックスに配布する。
3. 【授業】導入時に「へんとつくりのカード」を操作し、組み合わせることができる漢字を考える。

授業者の感想：児童が操作面で困ることがなく、楽しそうに漢字を探していた。時間も予定していた時間に収めることができ、次の展開や考えさせたいところに時間をかけることができた。



児童が操作できる「カード」



操作面で困ることはないなので、本来考えさせたいところを中心に指導ができる。



【岡田のおもいつ記】

「MetaMoji Classroom」の機能の一つ、児童が動かせる「カード」を使った実践です。今回の実践は教育実習生が行ってくれました。当日は参観することができなかったのですが、本人や担当教官から話を聞くと、「児童が楽しそうに学習していた」と話してくれました。一目では漢字を想像できない児童が、カードを操作しながら漢字を発見できる良さがあります。「へんとつくり」の導入時、児童が主体的に活動できるように児童・教師ともに授業支援ソフトを使いこなす姿に頼もしさを感じました。このような姿は一朝一夕で身につくものではありません。日頃から3年2組では「MetaMoji Classroom」を扱っていて、文具の一つとして常に活用しているから現れた姿だと思います。操作で困ることが少ないので、本質的な内容の指導ができることも、今回の素敵なおもいつ記だと感じました。授業者が話したように、ICTを使うことで、次の展開の時間を確保できるというのも良さの一つだと感じます。